



2021年7月21日

各位

会社名 B-R サーティワン アイスクリーム 株式会社
代表者名 代表取締役会長 ジョン・キム
(コード: 2268、東証 JASDAQ)
問合せ先 専務執行役員 最高財務責任者
兼 管理本部長 白井 康平
(TEL 03-3449-0331)

2021年12月期 第2四半期累計業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年2月5日に公表いたしました2021年12月期第2四半期累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 業績予想と実績値との差異

(1)2021年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異
(2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,560	百万円 90	百万円 90	百万円 40	円 銭 4.15
今回実績(B)	8,424	489	536	331	34.37
増減額(B-A)	△136	399	446	291	30.22
増減率(%)	△1.6	443.3	495.6	727.5	728.2
(ご参考) 前第2四半期実績	7,759	△202	△153	△63	△6.59

(2) 差異の理由

新型コロナウイルス変異株の広がりが世界的に憂慮される中、年初より一部都府県で緊急事態宣言が再度発出され、その後も宣言解除と再発出、エリア拡大や期間延長等が繰り返されました。人流を抑えようとの国を挙げての施策が当第2四半期累計期間を通して続きましたため、店舗において計画通りの集客を得ることが出来ず、アイスクリームの出荷は伸び悩むこととなり、売上高は予想を下回りました。

一方で、4月1日にロゴの変更を伴うブランドリニューアルを実施、効果的にマーケティング投資を行って、より多くのお客様に“サーティワン”を想起して頂き、来店頂くための施策を展開しました。また、企業活動における感染の発生を抑止するため、Webを最大限活用した店舗指導などにより旅費交通費、会議費を大幅に削減するなど、経費管理コントロールを徹底した結果、営業利益、経常利益、四半期純利益は予想を大きく上回りました。

今後の業績につきましては、“おうちでサーティワン”と称しての持ち帰り商品の販売強化、中でも、ブランドリニューアルの一環として今春に市場投入しました“バラエティボックス”（スクープしたアイスクリームのカップ入り詰め合わせ）を前面訴求して、アイスクリーム売上の伸長に努めてまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の変異ウィルスの国内における影響の動向、ワクチン接種の進捗などを正確に予想することが困難であることから、2021年2月5日に公表いたしました業績予想を据え置くことといたします。

以上